

生野中学校区義務教育学校開校に向けた説明会でのご意見・ご質問

令和2年2月1日（土） 林寺小学校開催分

1	ご意見・ご質問	学校跡地には民間事業者が入るとなっている。災害時の避難所を行政が運営することも困難な状況であるのに、民間が運営する形で成り立つのか。
	回答	学校のどの部屋を避難所として残すか、また、地域活動の利用といった条件設定について、学校跡地検討会議にてご意見をいただきながら活用方策を検討し、各小学校での跡地活用計画を策定していきます。
2	ご意見・ご質問	新たな学校でも児童いきいき放課後事業（以下、「いきいき活動」）を利用するつもりだが、いきいき活動後に元の小学校区まで子どもを連れてくるのは誰か。
	回答	いきいき活動の受託事業者とも相談しながら、区役所が把握できる顔ぶれの大人に引率をしてもらう形を想定しています。そのなかで、いきいき活動の職員がベストかと考えており、区で予算を確保し、人員をつけたいと考えています。
3	ご意見・ご質問	今回説明があった新たな学校の教育内容は、令和4年の開校時にめざす目標なのか、それともさらに先の時期でめざす目標なのか。めざす教育内容の実現にむけ、どんなステップで進んでいき、最終的にめざす姿はどのようなものなのか。
	回答	<p>今回説明させていただいた教育内容は、開校時に実現したいものです。学校再編後にも安心して児童生徒が学校生活を送れるよう、毎月中学校区の校長連絡会を実施し、5校の教員で役割分担を行い、令和4年度から逆算した取組みを進めています。また、令和3年度、令和4年度予算を確保し、計画的に取組みを進めます。</p> <p>新たな学校でめざす姿としては、①現在の子どもたちの様子を踏まえてどうしていきたいか、②これからの社会の姿から逆算し子どもたちにどんな力をつけてほしいか、という2つの観点から教育環境を整えていきたいと考えています。切磋琢磨や他者と協力することを通して困難に立ち向かう力や、課題を見つけて考える、議論する、探求する力の養成に向け、総合的学習を中心にすえた取組みを行っていきます。</p> <p>生野中学校区では、2年ほど前から説明会等の機会を設けており、そのなかで、中学校の教育環境の改善を求めるとご意見をいただいていたことから、中学校も含めた再編を行うという観点からも、義務教育学校の設置を予定しています。</p>

4	ご意見・ご質問	中学校卒業後の高校進学については、どのように考えているか。また、子どもの適性を伸ばす取組みはどのようなものと考えているか。
	回答	<p>高校進学や適性を伸ばすという面でも、小学生の年齢から、小・中学校の全教員が児童を見ることで、子どもを9年間で把握し、各人の特徴を踏まえて、良さを引き出していくことにつながると考えています。</p> <p>卒業後の進路についても、大阪教育大学との連携や、適性診断等のツールも活用し、進学実績も意識した学校としていきたいと考えます。</p>
5	ご意見・ご質問	義務教育学校は今後も増やしていく予定なのか。田島中学校区では小中一貫校だが、生野中学校区では義務教育学校となる。その違いの根拠は何か。
	回答	<p>小中一貫した教育を全市的に進める方針があり、小中一貫した教育の形態のなかで最も一体化が進んだものが義務教育学校です。</p> <p>田島中学校区に対し、生野中学校区では予定している校地も広く、新築校舎も建てられ、特殊カリキュラムも組みやすいという違いがあります。</p>
6	ご意見・ご質問	義務教育学校の教員は、全員小・中学校両方の教員免許をもつ人員となるのか。小・中学校両方の教員免許をもつ教員が不足することはないのか。
	回答	<p>義務教育学校の教員配置については、経過措置として、開校時に全ての教員が小・中学校両方の教員免許を保持していることは求められていないので、人事異動の自然なタイミングで徐々に小・中学校両方の教員免許をもつ教員を増やしていく形となります。また、現職の教員にも授業料の援助等をとおして小・中学校両方の免許を取りやすい方針としていくとともに、教員の採用段階でも、小・中学校両方の教員免許をもつ方向けの採用枠を設けていくことも検討したいと考えています。</p>
7	ご意見・ご質問	もしも林寺小学校に小・中学校両方の教員免許をもつ教員がいなければ、新たな学校に林寺小学校にいた教員が配置されないことになってしまうのではないかと。新たな学校には4小学校から平等に教員が配置されるべきだと思ふ。そうするためには、この令和2年4月の異動で林寺小学校に小・中学校両方の教員免許をもつ教員を配置してもらう必要があるのではないかと。
	回答	<p>現在、大阪市全体で小・中学校両方の教員免許をもつ教員はおおよそ1/4程度となっています。再編前の各学校との継続性、各学校から来る教員のバランスを最重要視したいと考えているので、令和4年4月時点では小・中学校両方の教員免許をもつ教員が全てとはなりません、その後計画的に増やしていきたいと考えます。</p>

8	ご意見・ご質問	学校選択制が導入されると小規模校のさらなる少人数化が進むおそれはないのか。
	回答	<p>区内西部地域についても学校選択制導入の希望を強く受けていますが、これまで導入しなかった理由は小規模校のさらなる小規模化のおそれがあるという考え方からでした。</p> <p>現在、新たな学校が開校する令和4年度新入学生から利用できる形で学校選択制を導入することを内部で検討しています。</p>
9	ご意見・ご質問	通学は集団登校になる予定か。集団登校となれば、PTAで持ち回りの当番的なものができることとなるのか。
	回答	<p>現在、生野中学校区では4小学校のうち1小学校が集団登校を実施しています。新たな学校で集団登校を行うか否かについては、まだ具体的に決まっていますが、今後、学校と相談しながら検討を進めていきます。集団登校を行うか否かに関わらず、保護者・地域住民の方の視点もいただき安全対策の取組みを進めていきたいと考えています。</p>
10	ご意見・ご質問	学校跡地のグラウンドや体育館は引き続き地域で使えるのか。林寺小学校の跡地は林寺地域が優先的に使えるといった形にすることも可能か。跡地に民間事業者が入ってもこれまでのように自由に使えるのか。利用が有料化することもあり得るのか。
	回答	<p>学校体育施設開放事業や生涯学習ルーム事業については、新たな学校に移行することとなりますが、地域ニーズも踏まえ、必要なものは残していきたいと考えます。跡地の利用にあたっては、地域、事業者、行政からなる協議体を立ち上げ、調整を行っていきます。</p>
11	ご意見・ご質問	新たな学校に学校体育施設開放事業等の活動が移行するとすれば、1校分の施設しか使えなくなるというわけではないのか。
	回答	<p>他校区の跡地検討会議では、地域ニーズを学校跡地活用に条件付けする検討を行っています。できる限り地域にも学校跡地を使っていただく形としたいと考えていますが、事業者が参画しやすくなるようバランスをとることも必要になります。現状、複数の事業者にヒアリングを行ったところ、地域の跡地活用が、参画の大きなハードルとはなっていない様子です。</p> <p>学校体育施設開放事業や生涯学習ルーム事業にかかる運営委員会等の会議体は1つになりますが、各小学校跡地を活動場所にするというニーズは受けたいと考えていますので、跡地検討会議でご要望をいただきたいと考えています。</p>

12	ご意見・ご質問	学校設置協議会を今後も続けるということだが、委員の変更は行うのか。
	回答	現在の委員は各PTA、地域まちづくり協議会からご推薦をいただいた方であるので、変更は行いません。
13	ご意見・ご質問	今の学校設置協議会では林寺小学校区からの出席がない。新たな会議体を組織しなれば、林寺小学校区の出席ができないとしている形でそのまま進めるということか。
	回答	条例により協議の場を設置するということになるので、委員のご推薦を依頼することとなります。
14	ご意見・ご質問	学校設置協議会が立ち上がる際に、第1回目の開催案内を林寺小学校区は受け取っていない。案内をされていないのに、どうして出席ができるのか。今後は、特定の地域を無視するかのようにはせず、きちんとした進め方をしてほしい。
15	ご意見・ご質問	学校跡地検討会議の具体的な姿はどのようなものか。
	回答	現在、御幸森小学校区、生野小学校区ですでに立ち上がっている跡地検討会議では、10名程度の委員構成で、跡地活用コンセプトやプランを決めていく場となっています。
16	ご意見・ご質問	林寺小学校区での跡地検討会議のスケジュールはどうなるのか。具体的にいつから委員の募集を行うのか
	回答	令和2年度から委員の募集を行います。年度始まりの早々の時期での募集を予定しています。
17	ご意見・ご質問	市会での答弁、行政からの配布物や公表物では真実ではないことが含まれている。真実ではないことを発信しないと約束してほしい。
	回答	真実ではないことを発信するようなことはしません。
18	ご意見・ご質問	委員も変わらない、これまでと同じ学校設置協議会に出ろと言うのか。結論ありきで話し合いをしているような会議を会議とは思わない。現在の形で進めるというならば出席はしない。 行政からの説明は「検討します」ばかりではないか。それでは、具体性もなければ信頼もうまれない。 林寺小学校区は相当程度の覚悟とある種の諦めを持ってこの場に出てきている。それに見合うだけの対応をしてほしい。
	回答	これまでのなかで「信頼関係がない」とおっしゃられたことに関して、深く受け止めています。学校跡地検討会議に関して、具体性がないということについては、令和元年度中に立ち上げたかったところ、行政との信頼関係を築けず、機会が作れなかったことについてお詫び申し

		<p>上げます。</p> <p>新しい学校をどうしていくかという会議の在り方については、持ち帰り、教育委員会と相談してまいります。保護者の皆さまの一番の不安は、まず通学路の部分があると考えています。分科会という形で、まずは林寺小学校の通学路の問題を、校区を回ってチェックをするというような機会はすぐにでも設けられますので、必要な予算を確保するためにも、先行して行わせていただくというような形で取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>進路選択に強い学校等、様々なご意見や保護者の思い、また、色々と悩み断腸の思いでこの説明会にお越しいただいているということをしっかり受け止めて、本当にいい学校を作りたいと考えておりますので、信頼関係を積み上げて、まちづくりにとっても、子どもたちにとっても、地域の防災といった点においてもご安心にいただけるようなまちにしていきたいと考えています。</p>
--	--	--